



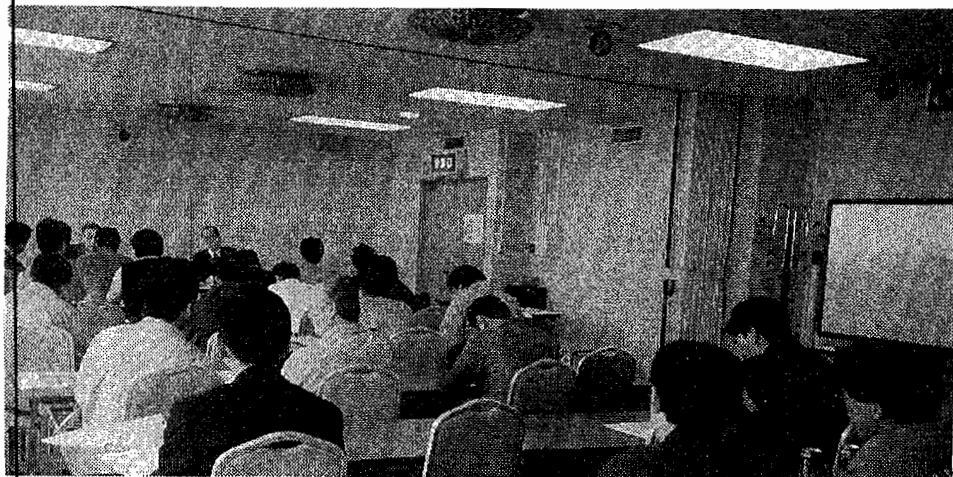
日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

94.4.21 No. 3983

勝利へ！反合熟知を勤務制度



動乗勤学習会開催

乗務員分科会

四月一二日、千葉市民会館において乗務員分科会は、「動力車乗務員勤務制度」に関する学習会を開催した。

本学習会は、昨年一二月一六、一七日の第回乗務員分科会定期委員会・第三一回本部定期委員会において決定され、開催された。

本学習会の意義は、重要である。今日、動力車乗務員の「時短」と称して提案され、JR総連の裏切りによって導入された新動乗勤制度は、最悪の制度である。

動乗勤導入以前にも、動力車乗務員は、国鉄時代の要員の半数で

列車ダイヤを確保するために働いていた。

それが、昨年三月以降、「新動乗勤」が強制され、待ち合わせ時間を労働時間としてカウントしないという、動力車乗務員にとって死を宣告するに等しい不当な勤務制度がおしつけられ、今日まで至っている。

そして、当局はその制度に基づき、労働時間Bをどれだけ切り縮められるのかを虎視眈眈と狙い、さらなる改悪を画策しているのである。

そうした状況に踏まえ、乗務員分科会として、反合・運転保安確立の闘いを展開するために、自らの勤務制度・運転法規等を熟知していくのは必須の課題である。

そうした位置付けのもと、開催された学習会は、本部布施副委員長の問題提起、楢垣乗務員会長の動乗勤制度の解説を受けた。

とくに楢垣会長は、全条文を約四時間にわたって熱のこもった解説をした。参加者は、楢垣会長の解説を聞くにつれ、この勤務制度の不当さに怒りが込み上げてきた。乗務員分科会は、さらにこうした取り組みを通じて、反合・運転保安確立の闘いの強化をかちとっていく決意である。

四月一八日、サークル協議会は、動力車会館において第一五回サークル協議会を開催した。決定された一九九三年度役員・当面するサークル行事は以下のとおり。

議長	中野 洋	本部
副議長	赤羽根宣男	本部
事務局長	高石正博	本部
事務局次長	益川義行	新小岩
運営委員	宇田川一夫	幕張
同	戸田隆雄	千葉転
同	関根一美	銚子
同	田中広胖	いすみ
会計監査	石川二郎	新小岩
同	鎌田正則	館山

サークル協同年間行事計画

五月一四日

ボーリング大会

七月一〇日

地引き網大会

九月二二日

ゴルフ大会

一一月二二日

団結運動会

一二月または一月頃

(予定) ボーリング大会